

平成25年度第2回

中小企業景況調査報告書

平成25年 7月～ 9月期報告
平成25年10月～12月期予測

千葉県商工会連合会

中小企業景況調査報告書

平成25年7月～9月期

調査要領

1. 調査対象

(1)対象地域

11商工会地域 千葉市土気商工会、鴨川市商工会、鎌ヶ谷市商工会、富津市商工会、南房総市内房商工会、匝瑳市商工会、いすみ市商工会、酒々井町商工会、栄町商工会、多古町商工会、長柄町商工会

(2)対象企業数 165 企業(11 商工会×15 企業)

(3)回答企業数 165 企業

2. 調査対象期間 平成25年7月～9月を対象とし、調査時点は平成25年8月23日～9月2日である。

3. 調査方法 商工会の経営指導員による訪問面接調査。

(1)産業別構成

業 種	回答企業数	構成比(%)
製 造 業	28	17.0
建 設 業	31	18.8
小 売 業	46	27.9
サービス業	60	36.3
合 計	165	100.0

(2) 業種別構成

① 建設業

業 種	回答企業数	構成比(%)
総合工事業	15	48.4
職別工事業	7	22.6
設備工事業	9	29.0
合 計	31	100.0

② 製造業

業 種	回答企業数	構成比(%)
食料品製造業	6	21.4
プラスチック製品製造	5	17.9
印刷・同関連業	1	3.6
窯業・土石製品製造業	1	3.6
金属製品製造業	5	17.9
生産用機械器具製造業	4	14.3
業務用機械器具製造業	2	7.1
電気機械器具製造業	1	3.6
その他の製造業	3	10.7
合 計	28	100.0

③ 小売業

業 種	回答企業数	構成比(%)
各種商品小売業	1	2.1
織物・衣服・身の回り品小売業	5	10.9
飲食料品小売業	16	34.8
自動車・自転車小売業	3	6.5
家具・建具・じゅう器小売業	5	10.9
その他小売業	16	34.8
合 計	46	100.0

④ サービス業

業 種	回答企業数	構成比(%)
一般飲食店	25	41.7
宿泊業	6	10.0
運送業	3	5.0
自動車整備業	7	11.7
洗濯・理美容業	12	20.0
その他のサービス業	7	11.7
合 計	60	100.0

本報告書中の[DI 値]とあるのは、デフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(好転、上昇)企業割合から、減少(悪化、低下)企業割合を差し引いた値を示すものである。

I. 県下中小企業の景況

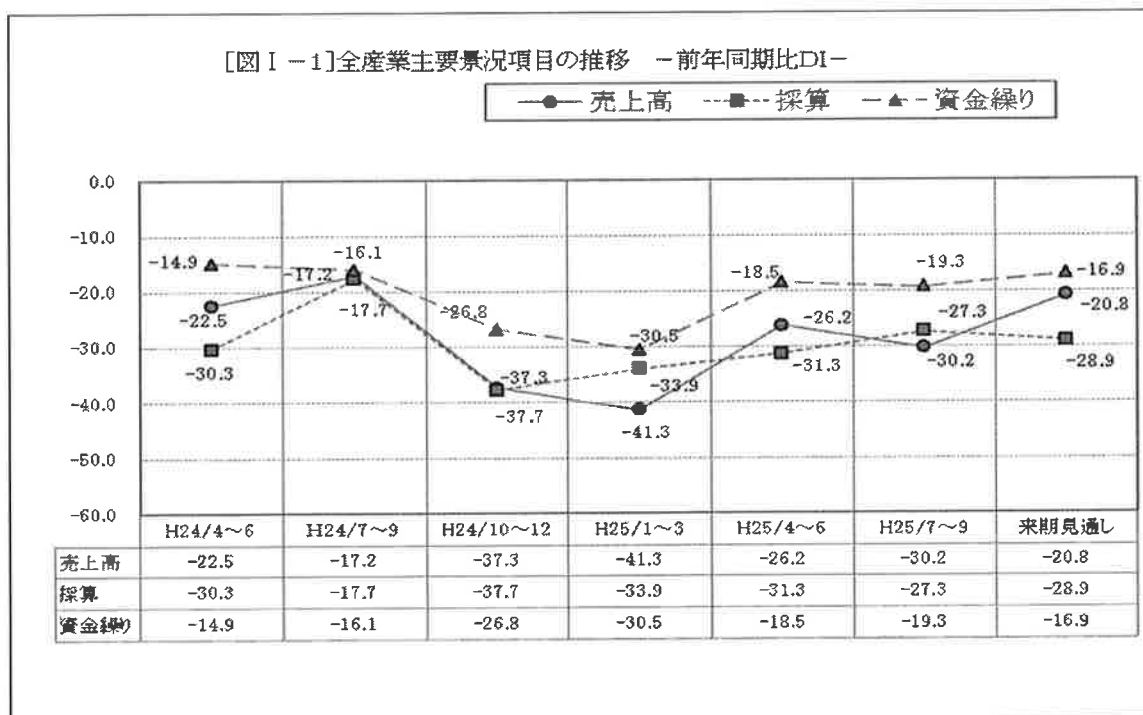
“現況も見通しも「横ばい」だが・・・”

千葉県商工会地区の平成25年7～9月期の中小企業景況調査結果によると、産業全体の景況感は、[図I-1]に示したとおり、今期売上高DI値は-30.2で前期（平成25年4～6月期 -26.2）比4.0ポイント悪化、同採算DI値は-27.3と前期（-31.3）比で4.0ポイント改善、同資金繰りDI値は-19.3と前期（-18.5）比で0.8ポイント悪化しており、数値的には政権交代後の経済立て直し策が小規模事業者にも浸透しつつあることを伺わせる結果となっている。

一方、前年同期（平成24年7～9月期）調査と比較してみると、売上高DI値は、前年同期（-17.2）比で13.0ポイント悪化、同採算DI値も前年同期（-17.7）比で9.6ポイント悪化、資金繰りDI値は前年同期（-16.1）比で3.2ポイント悪化しており、昨年後期の低迷からは復調途上の状況といえる。

来期（平成25年10～12月期）の見通しについて、全産業では売上高DI値が-20.8、採算DI値は-28.9、資金繰りDI値は-16.9となっており、前回調査時の見通しと比べると軒並み悲観的な数値となっている。業種別に見ても建設業は引き続き回復基調となっているが、製造業、小売業、サービス業は指標の改善、悪化が入り交じっており、先行きの不透明さが続いている予測となっている。














来年4月の消費税率アップを控え、中小企業、特に小規模事業者は円滑な価格転嫁に向けた取り組みを早急に進める必要があり、さらには消費者行動の予測、仕入価格上昇傾向の中での利益確保等、山積する課題に適切な対応が重要となっている。



Ⅱ. 各産業の景況

1. 製造業の景況

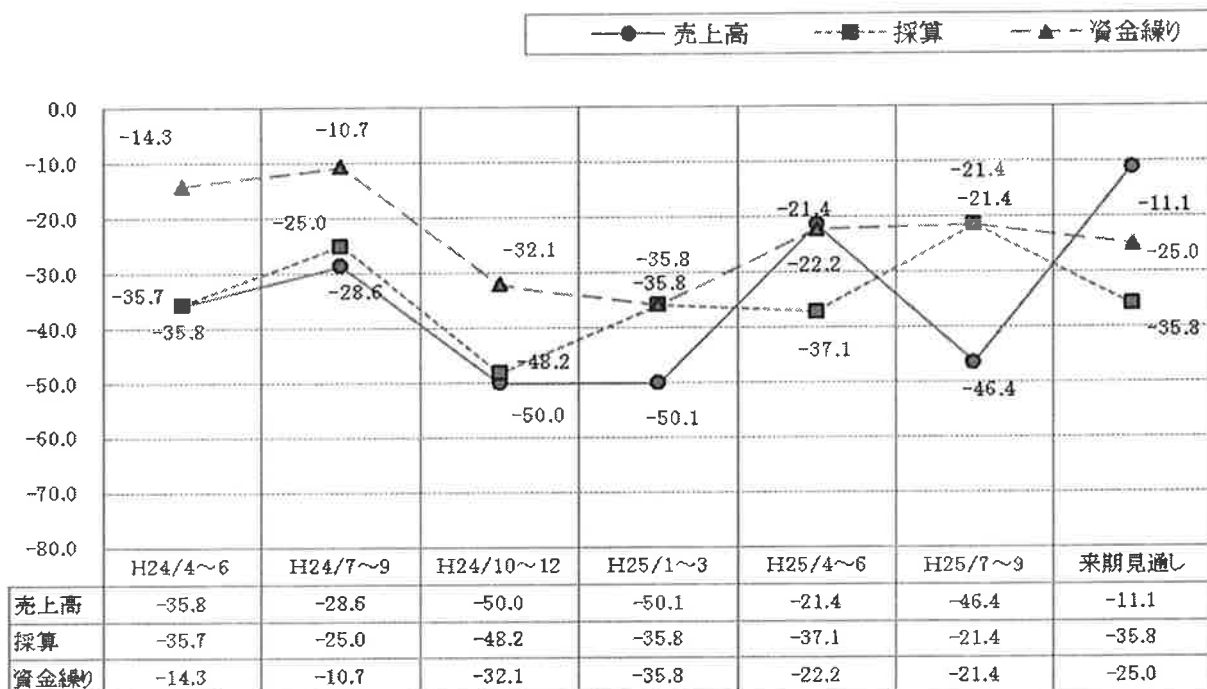
“回復遅く、景況感にバラツキも目立つ”

	今期の景況	来期の見通し	
売上高			 :DI 値 +30～
採算			 :DI 値 +10～+30
資金繰り			 :DI 値 +10～-10
総合			 :DI 値 -10～-30
			 :DI 値 -30～

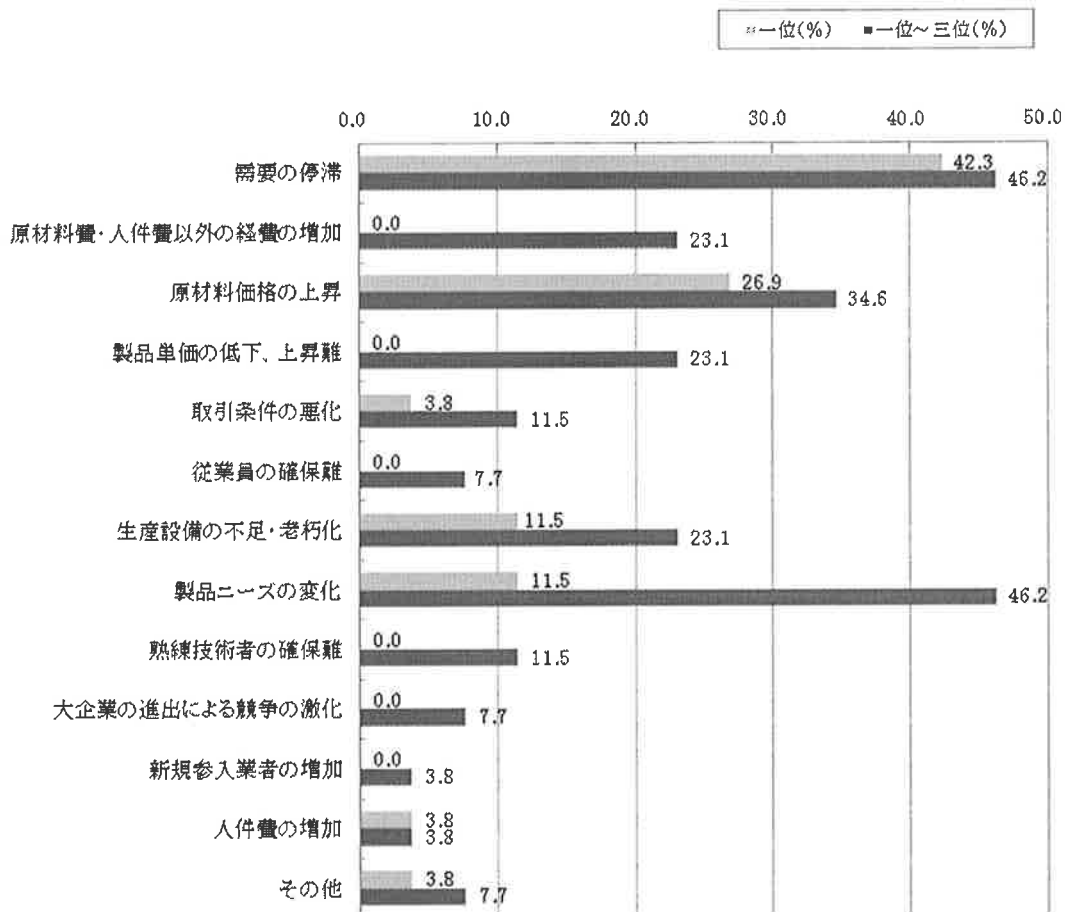
千葉県商工会地区における製造業の景況は、徐々にDI値の改善が見られているが、依然厳しい状況が続いている。企業城下町を持たない本県は、リーマンショックの影響を受けるのが遅かった代わりに、自動車輸出の伸び等の恩恵も受けにくいため、他地域と比べ回復が遅れている。今後の見通しも、一進一退を思わせる回答が目立ち、本格的な回復に向かえるかどうか、まだまだ先行きは不透明である。また、事業者によって見通しにバラツキが多いのも本業種の特徴で、景気回復の恩恵が反映されつつある事業者と、そうでない事業者に差がついていると言える。

このような状況の中、今期は新規設備投資として前記調査の計画通り生産設備を4社が導入しており、停滞が続いていた設備投資に動きが出つつある。また、来期計画では工場建物、生産設備の導入が各1社ずつ予定されている。

[図Ⅱ-1] 製造業主要景況項目の推移 - 前年同期比DI-
















[図Ⅱ-2] 製造業 経営上の問題点の状況



2. 建設業の景況

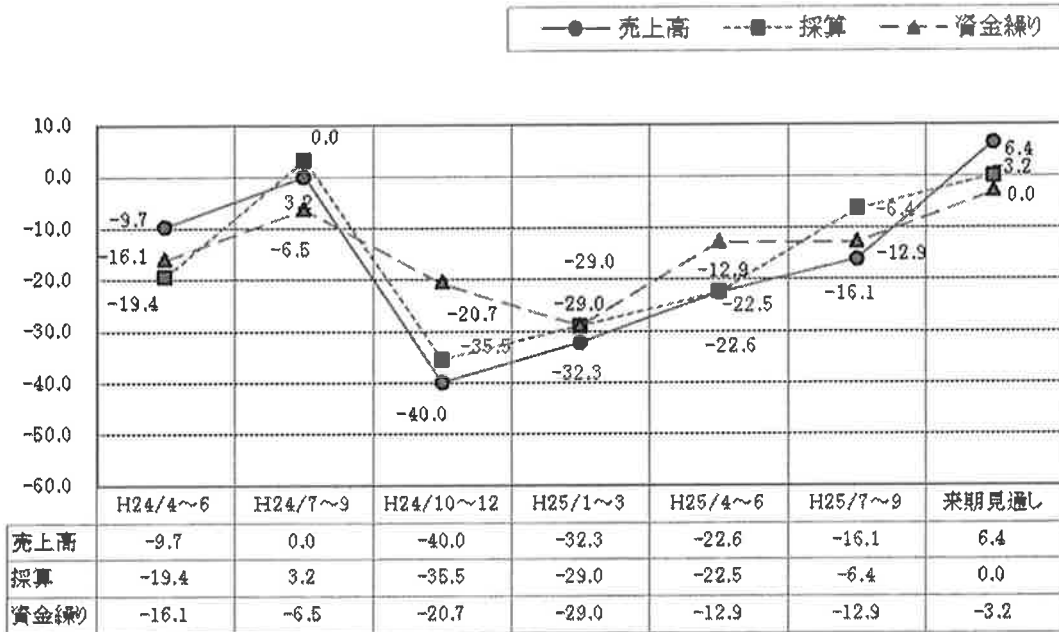
“業況の良化傾向続く”

	今期の景況	来期の見通し	
売上高			 :DI 値 +30～
採算			 :DI 値 +10～+30
資金繰り			 :DI 値 +10～-10
総合			 :DI 値 -10～-30
			 :DI 値 -30～

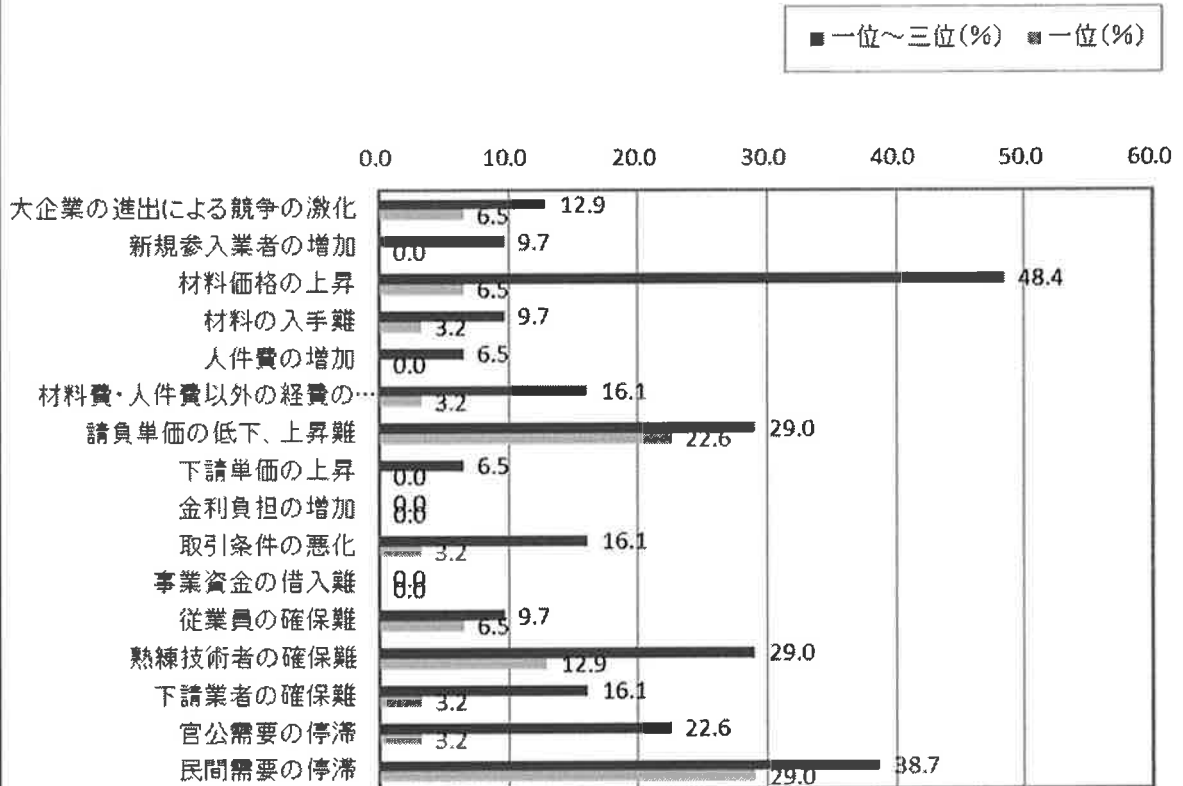
千葉県商工会地区における建設業の景況は、昨期に続いて改善傾向を見せており、今後の見通しについても他業種とは一線を画すものと言える。また、消費税率アップを控えた住宅等の駆け込み需要も見込め、来期の見通しもそれを裏付けるものとなっている。しかしながら、まだ需要停滞感を感じている事業者も多く、材料価格高騰やや受注単価の上昇難というマイナス要因も解消されておらず、消費税率アップ後の反動が懸念される。

新規設備投資については、1社が建設機械を、3社が車両運搬具を導入。来期計画では建物、車両運搬具、付帯施設を導入予定と回答があった。

[図Ⅱ-3]建設業主要景況項目の推移 - 前年同期比DI-
















「図表Ⅱ-4」建設業 経営上の問題点の状況



3. 小売業の景況

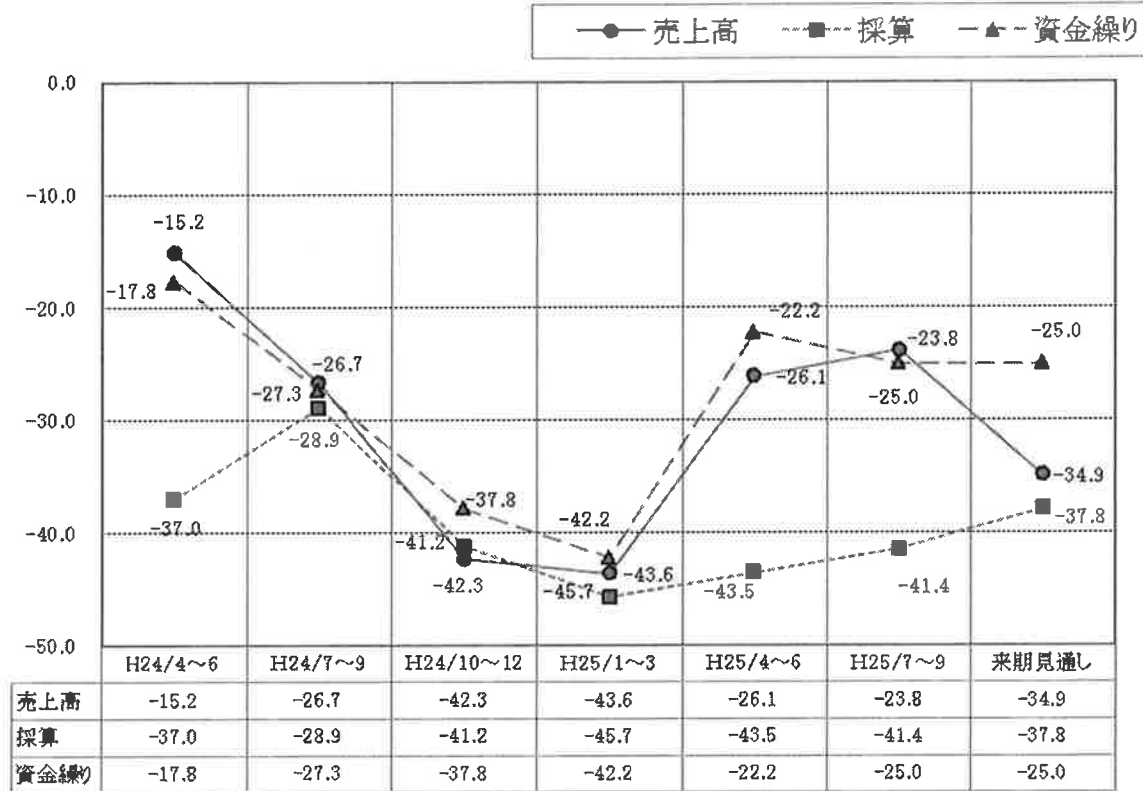
“採算の改善が進まず”

	今期の景況	来期の見通し	
売上高			 :DI 値 +30～
採算			 :DI 値 +10～+30
資金繰り			 :DI 値 +10～-10
総合			 :DI 値 -10～-30
			 :DI 値 -30～

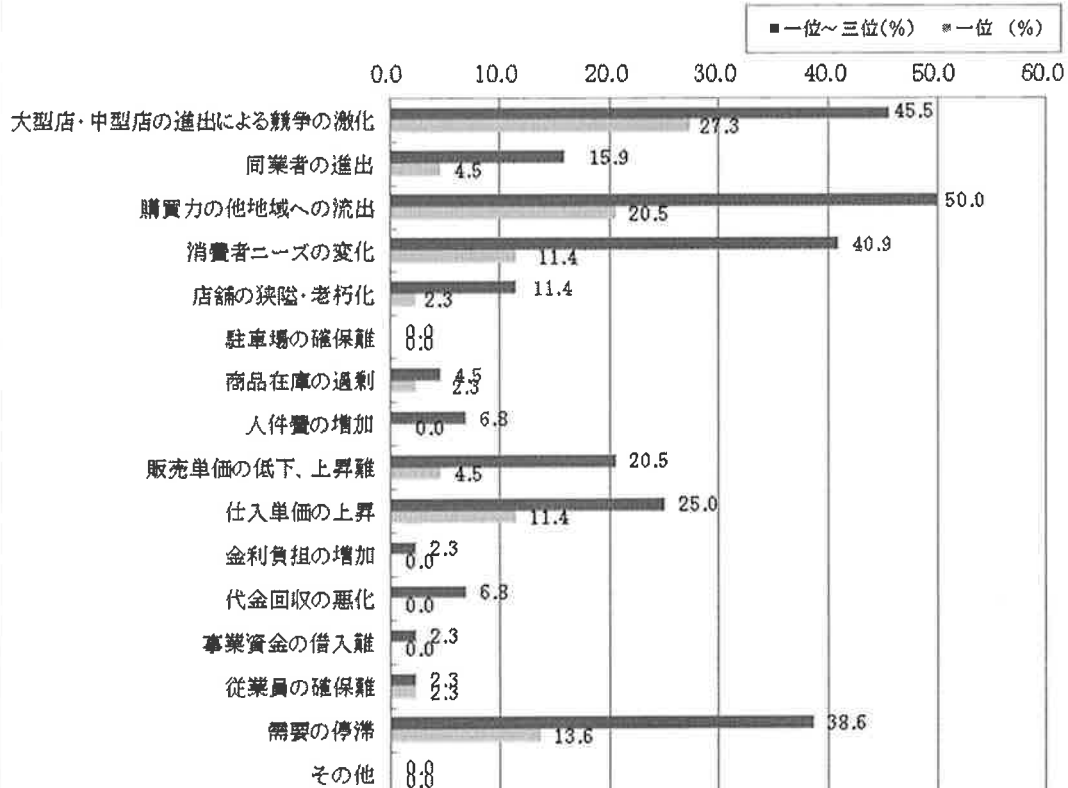
千葉県商工会地区における小売業の景況は、前期とほぼ同水準となり、低迷の続く採算DI値も、小幅な回復にとどまった。これは購買力の流出や消費者ニーズ変化への対応など、小規模事業者が抱える構造的な問題が重くのしかかっている上、仕入価格上昇も影響を及ぼしているものと思われる。今後の見通しについても前期同様に、採算は持ち直すが売上は伸び悩むと予測しており、はっきりとした回復基調にあるとは言い難い。

新規設備投資については、店舗新設が1社。来期計画では店舗、OA機器の順で導入を予定しているとの回答があった。

[図II-5]小売業主要景況項目の推移 - 前年同期比DI-
















[図II-6]小売業 経営上の問題点の状況



4. サービス業の景況

“利幅低下で業況停滞”

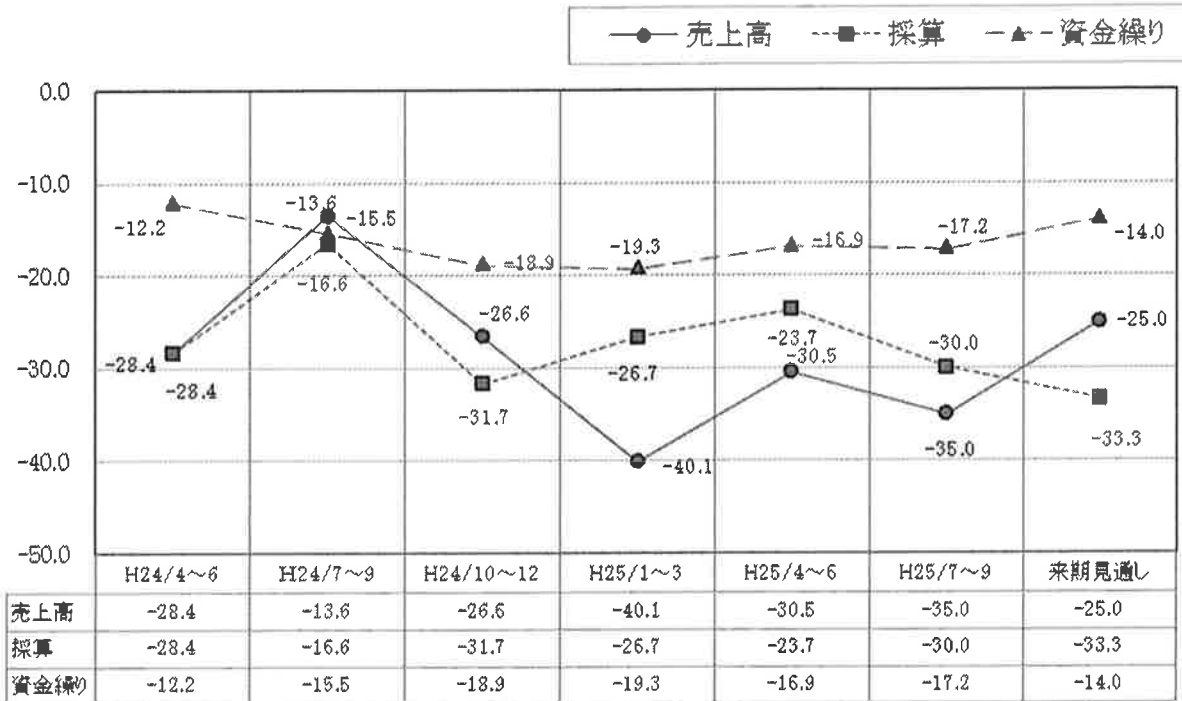
	今期の景況	来期の見通し	
売上高			 :DI 値 +30～
採算			 :DI 値 +10～+30
資金繰り			 :DI 値 +10～-10
総合			 :DI 値 -10～-30
			 :DI 値 -30～

千葉県商工会地区におけるサービス業の景況は、全指標でやや悪化。前期同様に需要停滞感が強く、ニーズ変化への対応や単価減、仕入価格上昇など懸念材料やマイナス要因を数多く抱えている。

来期の見通しについても、売り上げ、資金繰りに改善傾向を見込みながらも、採算については悲観的な見方が続いており、消費税の円滑な転嫁に併せて、付加価値の高いサービス提供への取り組み、工夫が求められるところである。

新規設備投資については、OA機器、建物（付帯施設含む）、車両運搬具等の順で導入実績があり、来期計画では車両運搬具、OA機器、建物、土地、サービス等の導入について回答されている。

〔図Ⅱ-7〕サービス業主要景況項目の推移 -前年同期比DI-



〔図Ⅱ-8〕サービス業 経営上の問題点の状況

